



▲1位でフィニッシュする男子最終区の
大中亮矢選手（楠浦町出身・千原台高校3年）

男子が3連覇を達成、女子は4位

熊日駅伝

「第30回熊日郡市対抗女子駅伝大会」が1月27日、「第39回郡市対抗熊日駅伝大会」（男子）が2月10日に行われ、市チームは男子が最終区で球磨郡を逆転し3連覇を達成、女子は4位でした。女子はびふれす熊日会館前（熊本市）をスタート・フィニッシュとする7区間30km、男子は天草市から熊本市までの14区間105.5kmのコースで行われ、いずれも県内19チームが出場。男子チームの池田信敏監督は、「今回は万全の体制でレースに臨むことができた。沿道からの皆さんの応援のおかげです」と話していました。

牛深ハイヤの魅力为全国へアピール

「ふるさと祭り東京」で牛深ハイヤ踊り披露

1月12日から同20日まで東京ドームで開かれた「ふるさと祭り東京2013～日本のまつり・故郷の味～」に、牛深ハイヤ保存会の50人が参加し、牛深ハイヤ踊りを披露しました。この催しは、全国各地の伝統ある祭りや特色ある味が一堂に集うイベント。会場内には300を超えるご当地グルメの出店コーナーが軒を連ね、特設のお祭りひろばでは牛深ハイヤ踊りのほか青森県五所川原立佞武多など10団体が参加し、祭りを披露しました。

同会の皆さんは、大勢の来場者でにぎわう中、「サッサヨイヨイ」と威勢の良いかけ声かけながら牛深ハイヤの陽気なリズムにあわせて踊り、会場を盛り上げていました。



▲踊りを披露する牛深ハイヤ保存会の皆さん

お買い物にはマイバッグを！

レジ袋削減運動「マイバッグキャンペーン」

市レジ袋削減推進協議会は2月2日、レジ袋削減運動の一環として買い物時にマイバッグの持参を呼びかけるキャンペーンを、市内2カ所のショッピングセンターで実施しました。キャンペーンには、同協議会の明瀬実会長をはじめ、ゆるキャラの「くまモン」と「キャプテン海道くん」が参加。環境に関するクイズの正解者にマイバッグをプレゼントしたほか、啓発チラシなどを配布してマイバッグの持参を呼びかけていました。明瀬会長は、「今後も啓発活動などを行い、レジ袋削減運動の推進を図っていききたい」と話していました。



▲マイバッグ持参を呼びかける明瀬会長と
キャプテン海道くん、くまモン

師弟の絆を深め合う

河浦高校伝統の「送別ラグビー」

1月30日、河浦高校3年生の男子生徒22人と教職員対抗による「送別ラグビー」が同校グラウンドで行われました。師弟間の絆を深め合うことなどを目的に毎年開催しているもので、今年で36回目となる伝統行事。試合は父母重喜校長のキックで開始され、先生たちへ成長した姿を見せようと意気込む生徒と、受けて立つ教職員の激しい試合が繰り広げられました。

結果は、生徒チームが27対0で教職員チームを圧倒。試合後は、抱き合いながらお互いの健闘をたたえていました。



▲試合のようす



▲講演を行う山口氏

幸せのための「まちづくり」

町民総幸福のまちづくりシンポジウム

1月27日、「町民総幸福のまちづくりシンポジウム」が倉岳多目的研修集会施設で開かれ、地区住民など約110人が参加しました。市が倉岳町の地域資源をいかにしながら、町民の幸せを第一とするまちづくりを推進しようと開催したもので、

基調講演では、あまくさ生きがいネット主宰の山口誠治氏が「お金や物でなく心のあり方が大事」と話されたほか、安田市長、天草女将會会長の國武裕子氏などによるパネルディスカッションを実施。参加者は「倉岳の地域資源をよりいかにするよう考えたい」と話していました。

高浜の歴史を学ぶ

お地蔵さまめぐり

1月20日、天草町高浜地区で「お地蔵さまめぐり」が開かれ、地区住民など40人が参加しました。高浜地区振興会が同地区公民館と合同で、地元の白鶴浜を見直そうと実施したもので、参加者は、高浜ボランティアガイドの案内で、白鶴浜周辺に点在する10カ所の「お地蔵さま」をめぐり、建てられた由来や地域の歴史の説明に熱心に聞き入っていました。

参加した高浜小学校4年の児童たちは、「学校の授業でも地域のことを調べているので勉強になりました」と話していました。



▲お地蔵さまをのぞき込む参加者